



その想い



第4号

発行人：谷泰智
28年6月7日発行

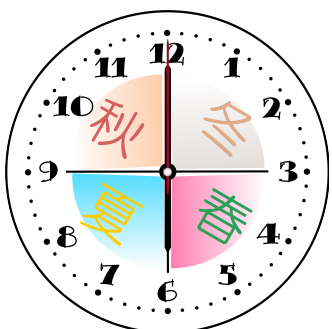
★ 献茶彼岸会のご報告

去る3月21日、午前午後の両部合わせまして20名もの方々にお参りいただきました。また、当日不参加の御連絡などお気遣い賜りましたことに、この場で御礼申し上げます。

御陰様で好評につき、来年春のお彼岸中にも開催する予定です。出来立ての温かいお抹茶をおかわりすることもできますので、是非お気軽にお越しください。



★ 四季に出会うために



左のイラストをご覧ください。私の独断で春夏秋冬をアナログ時計の上に配置してみました。このイラストを見ながら改めて考えてみると、夏休みと呼ばれるものは夏真っ盛りにあるのではなく、どちらかと言えば夏の終わりに位置しています。

しかしながら、世間では「真夏と言えば8月」という感覚をお持ちの方が多くのように思われます。実際の季節の間隔と我々の感覚の間には一月半くらいのズレがあるのではないか・・・？あくまでも私個人による仮説ですが、近頃そんなふうによく思います。

年の瀬を向かえる頃、「もう一年終わるねえ、早いね～！」なていう声をよく耳にするのは、このズレのせいではないかと思うのです。7月に入ってから川の遊びにどこか出遅れた感じを抱いていた私ですが、今年からは一段と前のめりに、四季それぞれの魅力ある情緒を見逃すことなく、敢えて欲を出して、季節ごとの素晴らしさを感じていこうと思っています。

『柳は緑、花は紅』とは有名な禅の言葉ですが、これには『ありのままの自然の美しさを讃えよ。』という意味があります。例えば桜、「満開の時こそが本来の桜の姿」なんて我々は思っていますが、それは人間が勝手に決めつけているだけのこと。緑に繁る姿も、万色調和した紅葉の姿も、凜として春を待つ姿も、心の中の色眼鏡を外して観れば、驚きを以って愛でることができます。

とすれば、我々の何気ない毎日でも、きっとありのままの素晴らしさに彩られているはずです・・・。

★ お盆のこと（迎える日と送る日）

今年度のお盆の時期は右記の3箇所です。どの箇所でも構いませんので、ここ2年の間に御不幸が無かったご家庭でも、ご先祖様との4日間をご家族一同、心寄り添われてお過ごしいただけますようお願い致します。

平成28年	迎える日	送る日
新盆	7月13	7月16
月遅盆	8月13	8月16
旧暦盆	8月15	8月18